



認証番号G24

時間と場所に縛られないマイペース受講

本年度の卒後教育講座と漢方講座をインターネット配信します。収録後、順次コンテンツを追加していきます。2021年度の卒後教育講座と漢方講座も再配信します。配信期間中、何度でも視聴でき、効率的に学習していただけます。

京都薬科大学

生涯教育センター

2022年度
eラーニング講座

開催日程 2022年6月1日(水)～2023年2月28日(火)

受講料 15,000円(視聴回数制限なし、PDF資料ダウンロード可)

申込受付 2022年3月1日(火)～2023年2月23日(木)

申込方法 ホームページよりお申込みください。
<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>

認定単位 G24 1単位/コンテンツ ※全50コンテンツ配信予定
過去にeラーニング講座または卒後教育講座を受講し単位取得済みのコンテンツは、認定単位を配付しません(視聴のみ可)。

2022新規 配信コンテンツ ※新規コンテンツは収録後、配信追加していきます。			
1	皮膚の痒みの臨床	14	【特別講演】漢方の改革者 細野史郎先生を語る
2	痒みの発生メカニズムと薬物治療	15	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―便秘―
3	認知症患者の診療と地域生活の支援	16	【薬物】薬局・薬剤師の為の分かり易い漢方 『山本巖流一貫堂漢方医学』(1)感冒・風邪とは?(2)頭痛・目眩
4	出生前検査とダウン症候群	17	【臨床】心療内科領域での漢方治療―柴胡剤を中心に―
5	ダウン症治療法確立を目指したモデルマウスを用いた基礎研究	18	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―下痢―
6	地域連携における薬剤師の役割	19	【薬物】「漢方薬・生薬に関する最近の話題」(仮)
7	亜鉛欠乏と腸疾患	20	【臨床】効かせる漢方(女性のQOLを高めるために)
8	亜鉛の働きと亜鉛欠乏による諸相	21	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―むくみ―
9	知っておきたい!高齢者の口腔と「食べる力」の変化～薬剤師としてのアプローチ～	22	【薬物】知っておきたい漢方配合生薬(その2)
10	【臨床】腎臓内科領域における漢方の役割	23	【臨床】漢方の病理学 気血水の考え方2022
11	【特別講演】難治性水滯関連疾患に対する山本巖医学の応用～明日から役立つ利水剤の先進医学的な使い方について	24	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―冷え―
12	【特別講演】日本漢方の独自性	25	【薬物】生薬の選別と鑑別(3)
13	【臨床】漢方薬局での店頭経験～生津薬を用いた症例を中心に～	26	【臨床】漢方薬でサポートするこれからの循環器診療

既年度分 配信コンテンツ			
27	慢性腎臓病の考え方と腎機能低下時の薬物投与について	39	【基礎】頭痛の漢方治療
28	CKD患者における薬物動態の変動	40	【薬物】知っておきたい漢方配合生薬(その1)
29	小児薬物療法の現状と問題点～小児薬物療法において薬剤師は何をすべきか～	41	【臨床】漢方薬局での店頭経験～炎症性疾患～
30	アレルギー性疾患について～特に、アレルギー性結膜疾患について～	42	【基礎】四肢の痛みの漢方治療
31	即時型アレルギーのメカニズム	43	【薬物】生薬の選別と鑑別(2)
32	検査値を用いた個別化医療の実現	44	【臨床】眼科領域における漢方治療
33	地域包括ケアシステムにおける薬局の役割	45	【基礎】風邪の漢方治療
34	薬局・病院での栄養療法の基礎から実践まで～現場で使える栄養療法～	46	【薬物】薬局・薬剤師の為の分かり易い漢方 『山本巖流一貫堂漢方医学』(1)～3つの体質～(2)腰から下の痛み
35	薬局・病院での栄養療法の基礎から実践まで～現場で活かせる基礎知識～	47	【臨床】素晴らしい漢方!古から学び、そして薬も考える漢方
36	実臨床に役立つ漢方口訣～臨床経験知としての古典～	48	【基礎】咳・痰の漢方治療
37	ペインクリニックによる「痛み」の漢方治療	49	【薬物】漢方製剤を併用する考え方:アトピー性皮膚炎治療を例にして
38	COVID-19感染症における漢方医学の役割	50	【臨床】漢方の森の中で迷わないために…これだけは押さえておきたい疾患の漢方治療

※配信コンテンツは変更される場合があります。

社会を動かす薬学へ。



京都薬科大学

生涯教育センター 事務取扱:事務局 実務・生涯教育課

TEL:075-595-4677(平日10:00～16:00)

E-mail:s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp(24時間受付)

〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5



2022
eラーニング
申込ページ

京都薬科大学 履修証明プログラム(専門・認定薬剤師資格 取得支援)

Lehmann プログラム

論文作成能力や症例報告書作成能力のほか、リーダーに必要な素養を身に付けることで、専門・認定薬剤師資格の取得をサポートするとともに、将来の薬学領域におけるリーダーを育成することを目的としたプログラムです。

★カリキュラムは共通科目+専門科目からなり、専門科目は3コースに分かれています。

薬学的視点に基づいた症例解析や症例報告書の作成技能を学ぶ「症例報告書作成コース」、適切な研究計画を立て、実践する技能を学ぶ「研究計画・実践コース」、わかりやすい論文を執筆できる技能を学ぶ「論文作成コース」の3コースを展開。全共通科目と選択した専門科目1コースを受講し、修了課題を提出すれば履修証明書が交付されます。

認定・専門薬剤師の資格取得には、症例報告書作成能力や論文作成能力などが欠かせませんが、これらを日々の業務のなかで体系的に学べる機会は少なく、資格取得の際の大きな壁となっています。また、症例報告書作成などの演習に重点をおく講座も少なく、本プログラムの専門科目3コースにおいては、少人数制（指導教員1人に受講生2〜3人）、e-learning中心+スクーリングという受講スタイルも相まって、受講生は全国から集まっています。

共通科目では「リーダー養成基礎科目」に時間を割き、論文の読み方、患者への活用・応用法、プレゼンテーションの作り方や発表方法、調査・統計の方法などについて、学んだことを現場ですぐに活用できるよう、演習中心のカリキュラムが組まれています。

<症例報告書作成などの演習で身につく力>

専門知識に根ざした
臨床判断力

薬学的視点からの
アプローチ力

EBM実践のための
文章表現力

<リーダーシップ養成系科目で身につく力>

論理的思考力

アセスメント力

プレゼンテーション力

2023年度募集概要

- ◆ 募集人数：症例報告書作成コース20名程度、研究計画・実践コース・論文作成コース 若干名
- ◆ 出願資格：本学指定の要件を満たす者（詳細はホームページにてご確認ください）
- ◆ 履修期間：1年間（2023年4月～2024年3月）
- ◆ 申込方法：受講申請書・志望理由書および薬剤師免許証の写しを郵送
（出願書類様式はホームページにてダウンロードしたものをご使用ください）
- ◆ 申込期間：2023年1月6日（金）～2023年2月28日（火）※必着
- ◆ 選考方法：書類審査にて実施
- ◆ 受講料等：入学金10,000円、授業料150,000円、事務手数料500円

* その他プログラムの詳細（募集要項、シラバス、日程表など）は、京都薬科大学生涯教育センターの公式ホームページをご確認ください。



社会を動かす薬学へ。
京都薬科大学

〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5

生涯教育センター（事務取扱：実務・生涯教育課）

TEL：075-595-4677（平日10:00～16:00）

FAX：075-595-4792（24時間受付）

E-mail：s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp

<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/index.php>



Lehmannプログラムページ